



2019年3月期 第2四半期
決算説明資料
平成30年11月15日

証券コード：9324

<http://www.yasuda-soko.co.jp/>

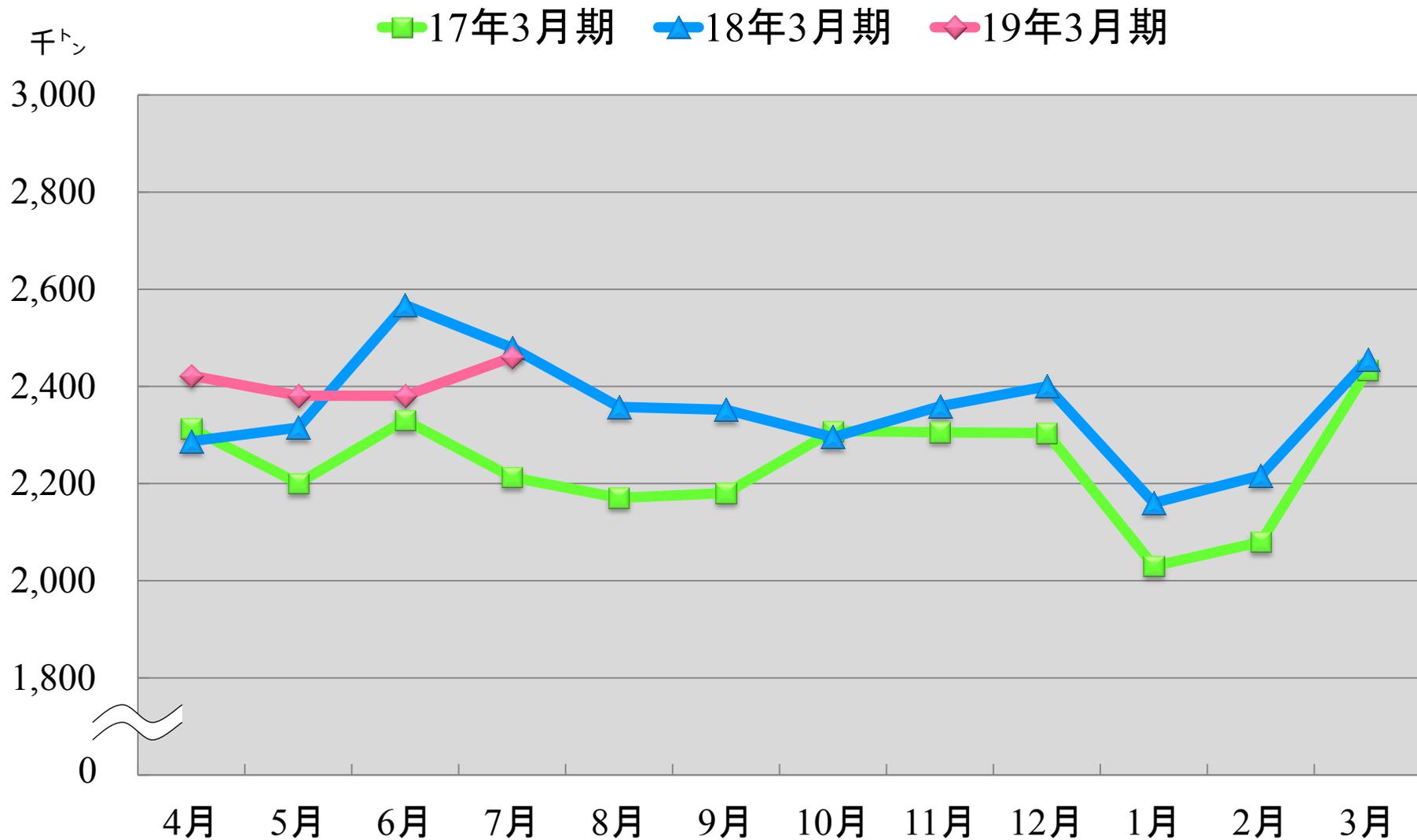
1. 環境認識

2. 2019年3月期 第2四半期（上期）の実績

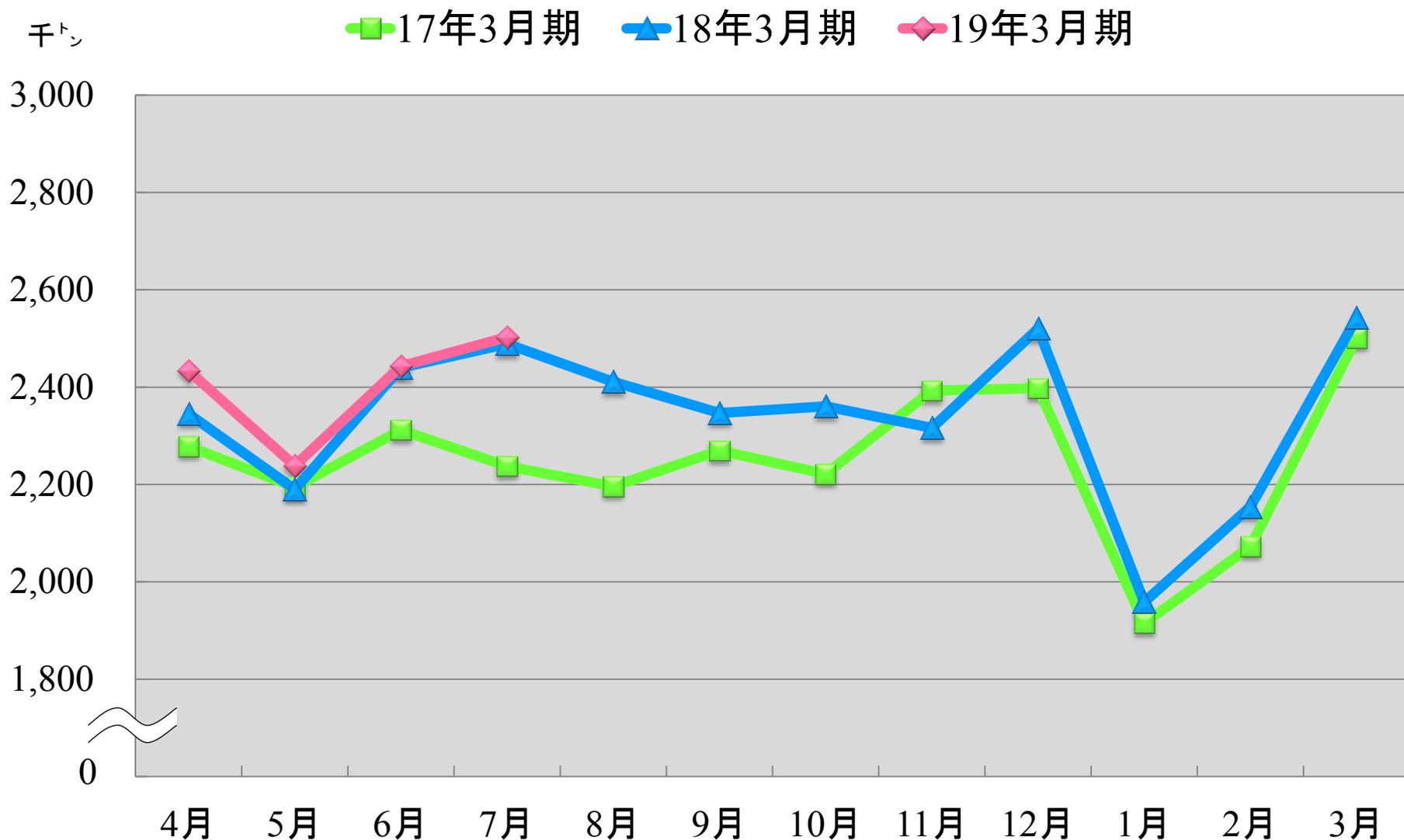
3. 2019年3月期 通期の見通し

1. 環境認識

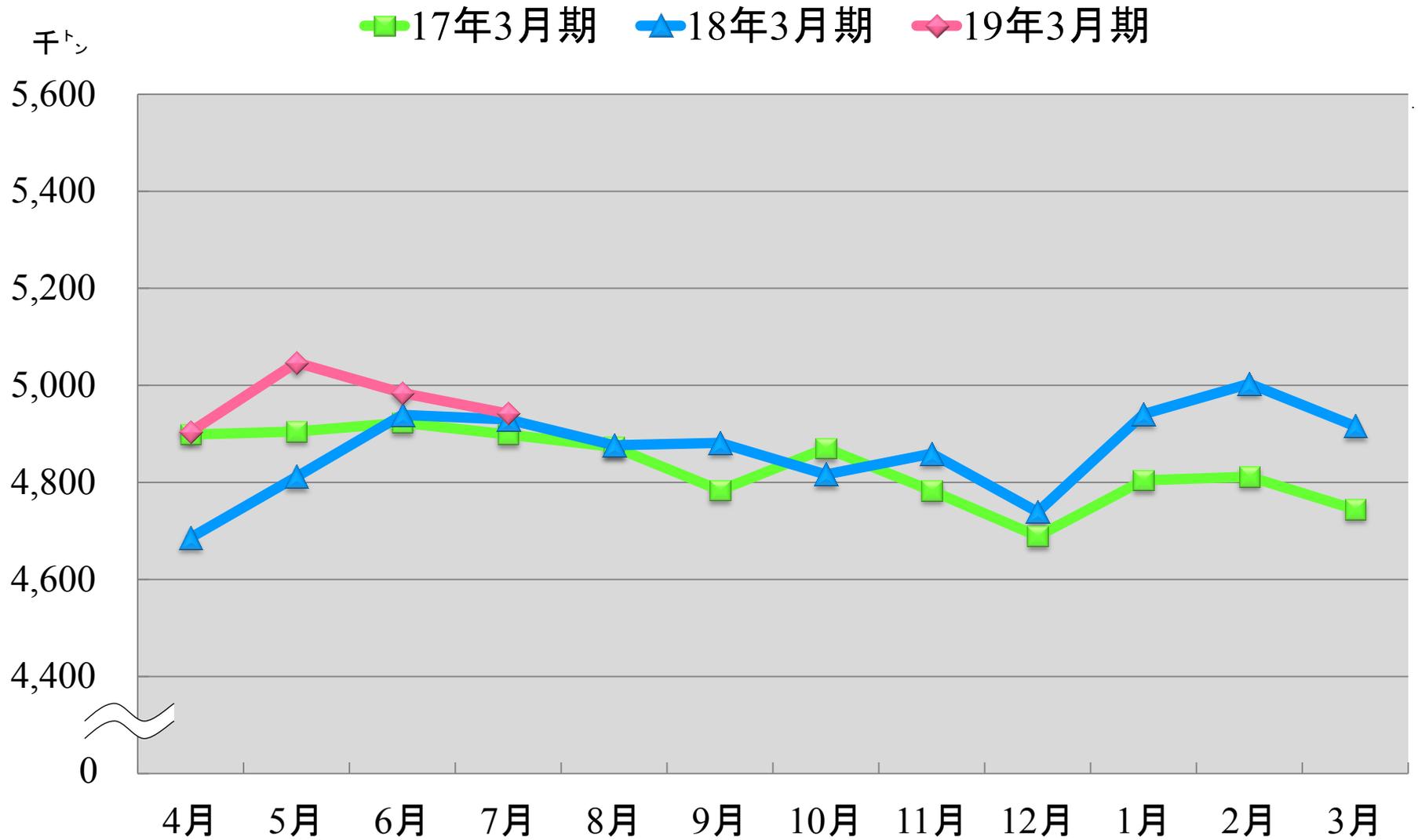
普通倉庫 2 1 社統計 入庫高



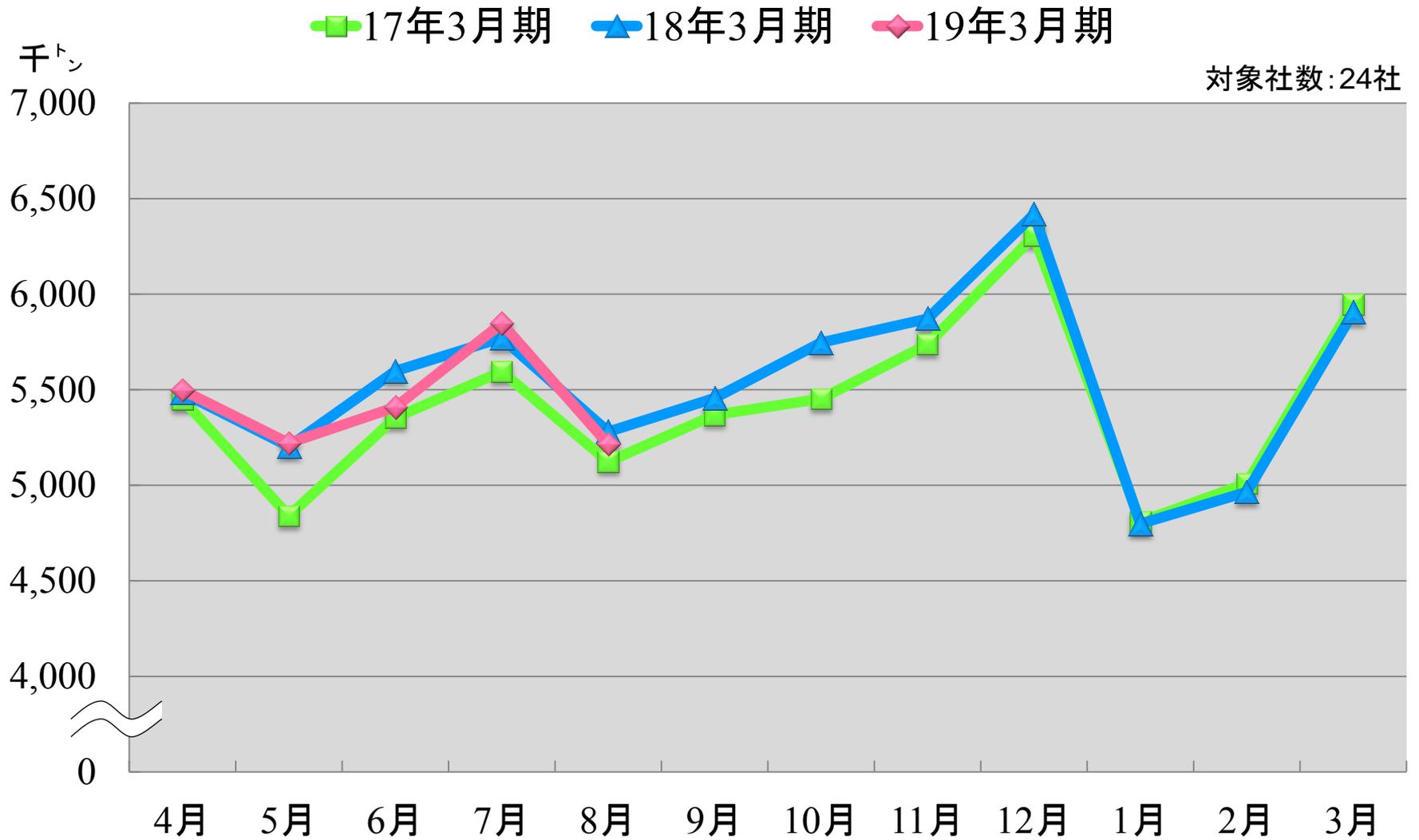
普通倉庫 2 1 社統計 出庫高



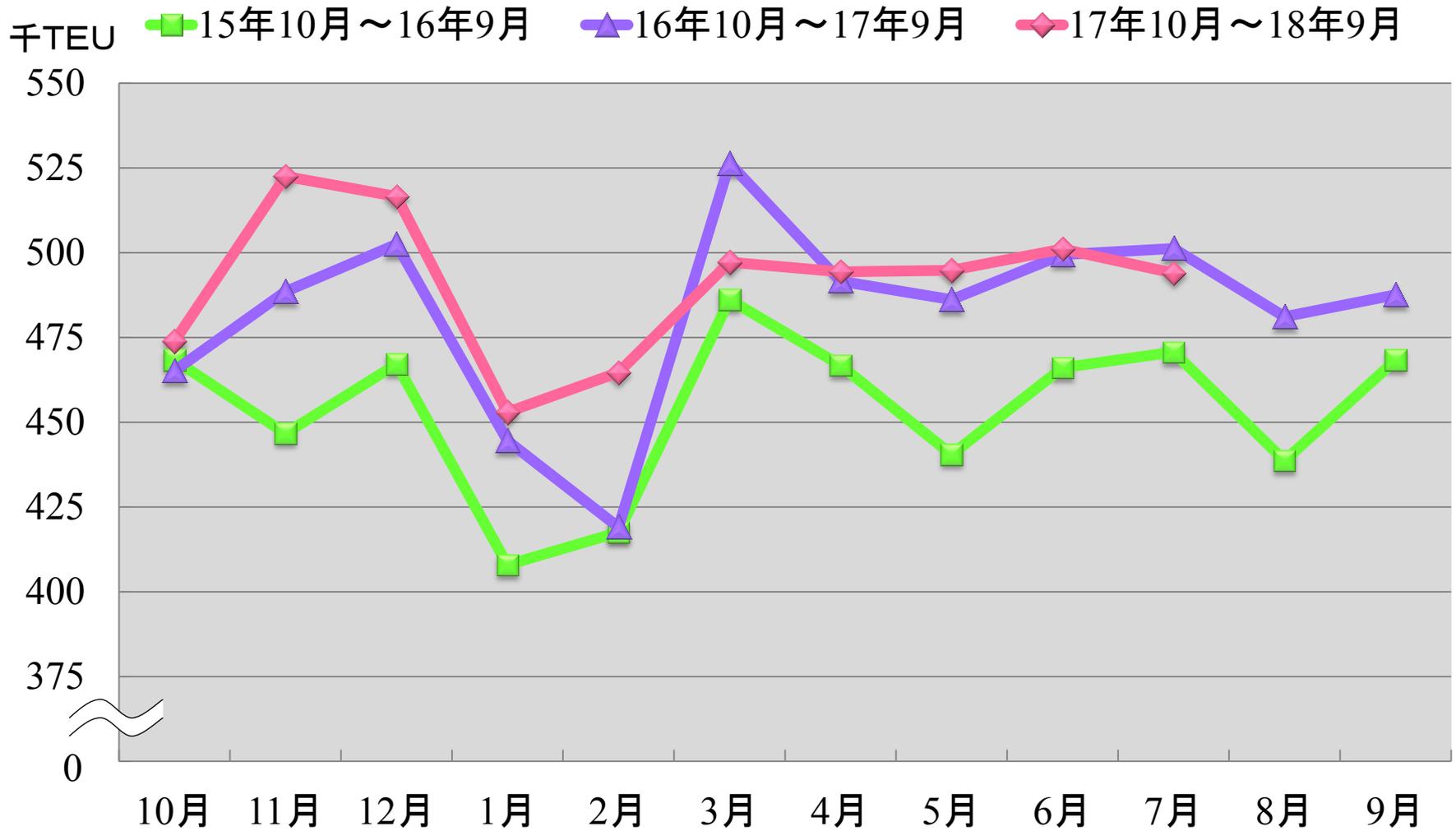
普通倉庫 2 1 社統計 保管残高



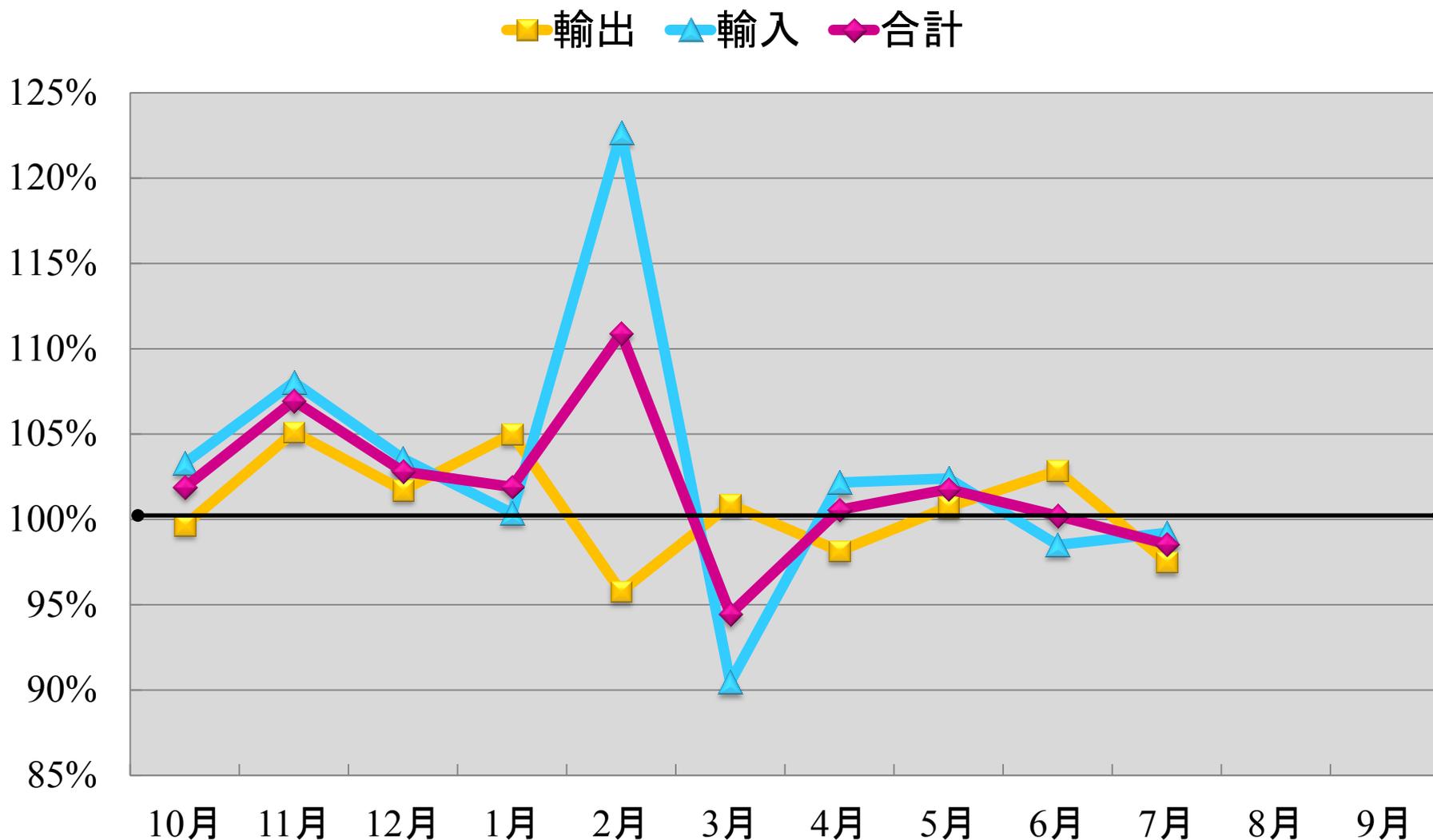
特積貨物輸送トン数



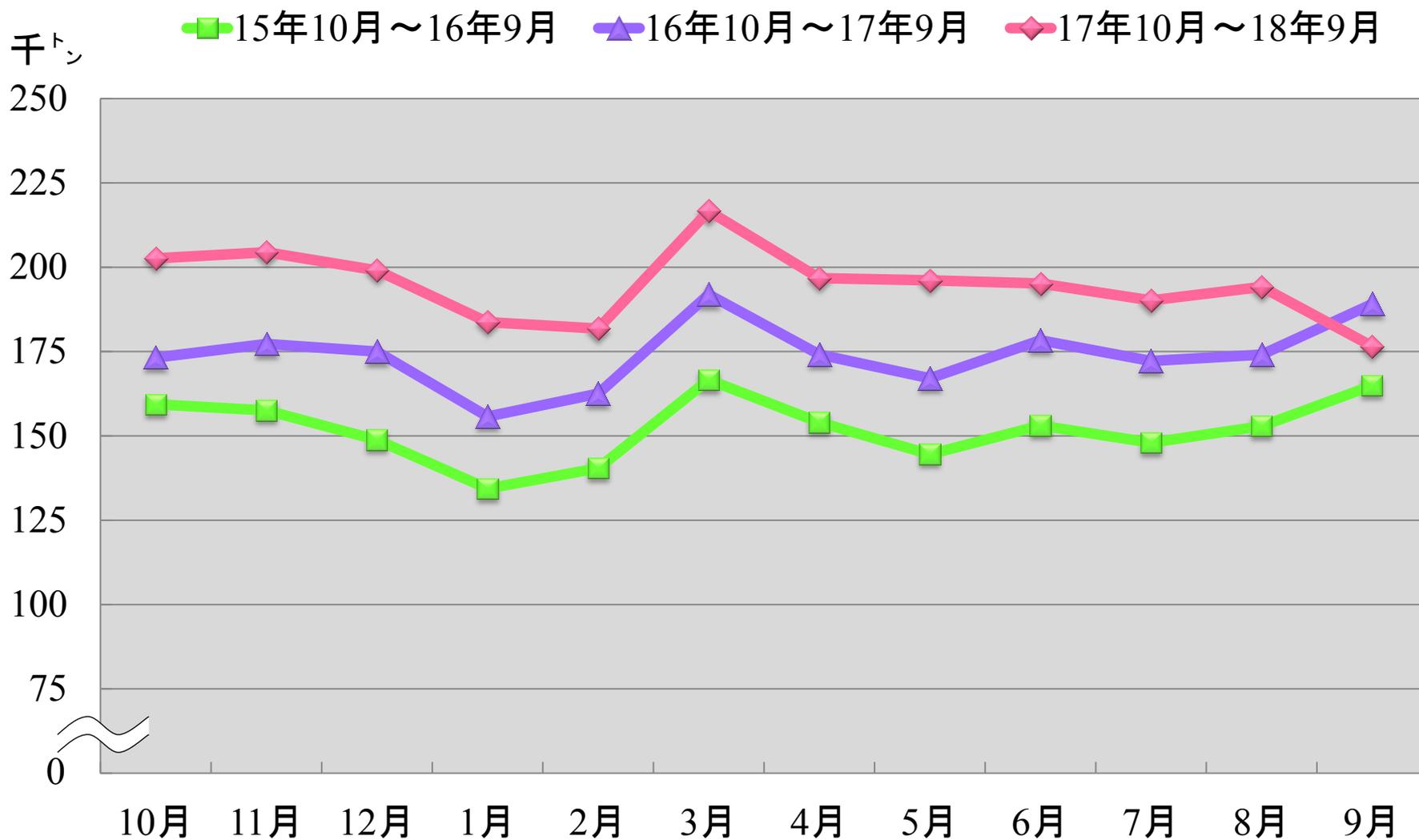
コンテナ取扱本数（京浜港） 輸出入合計



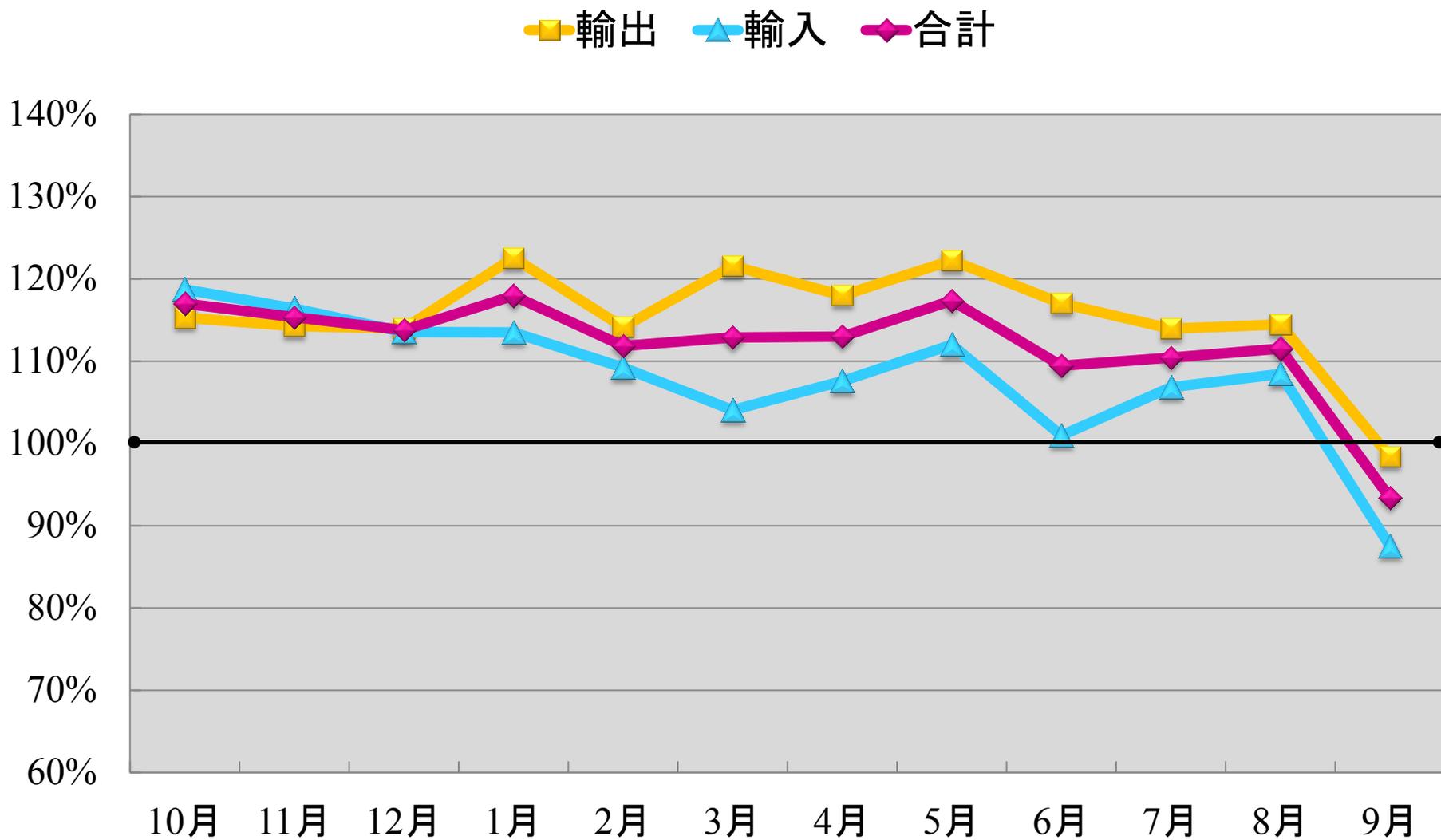
コンテナ取扱本数（京浜港）前年同月比

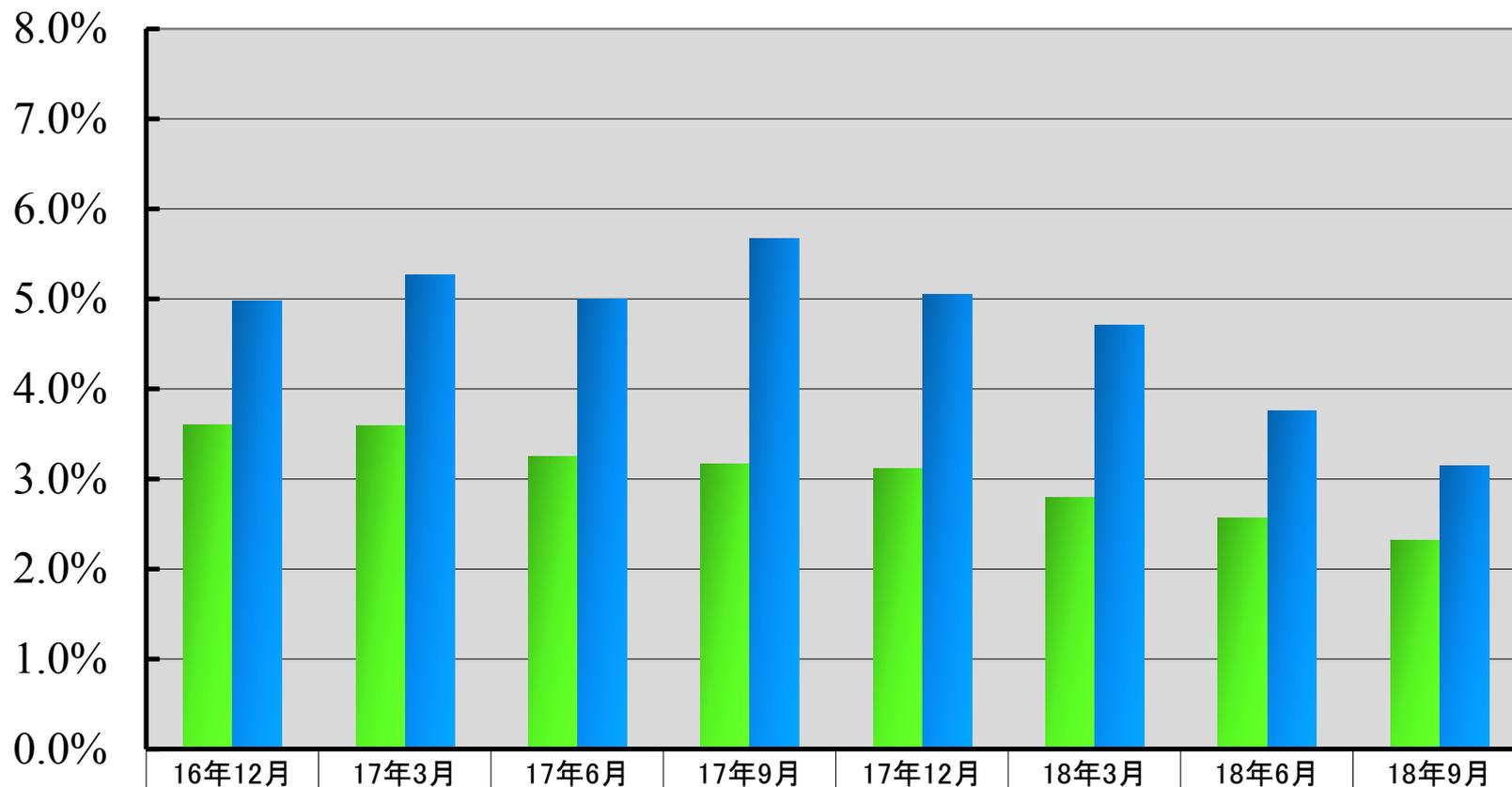


国際航空貨物取扱量 輸出入合計



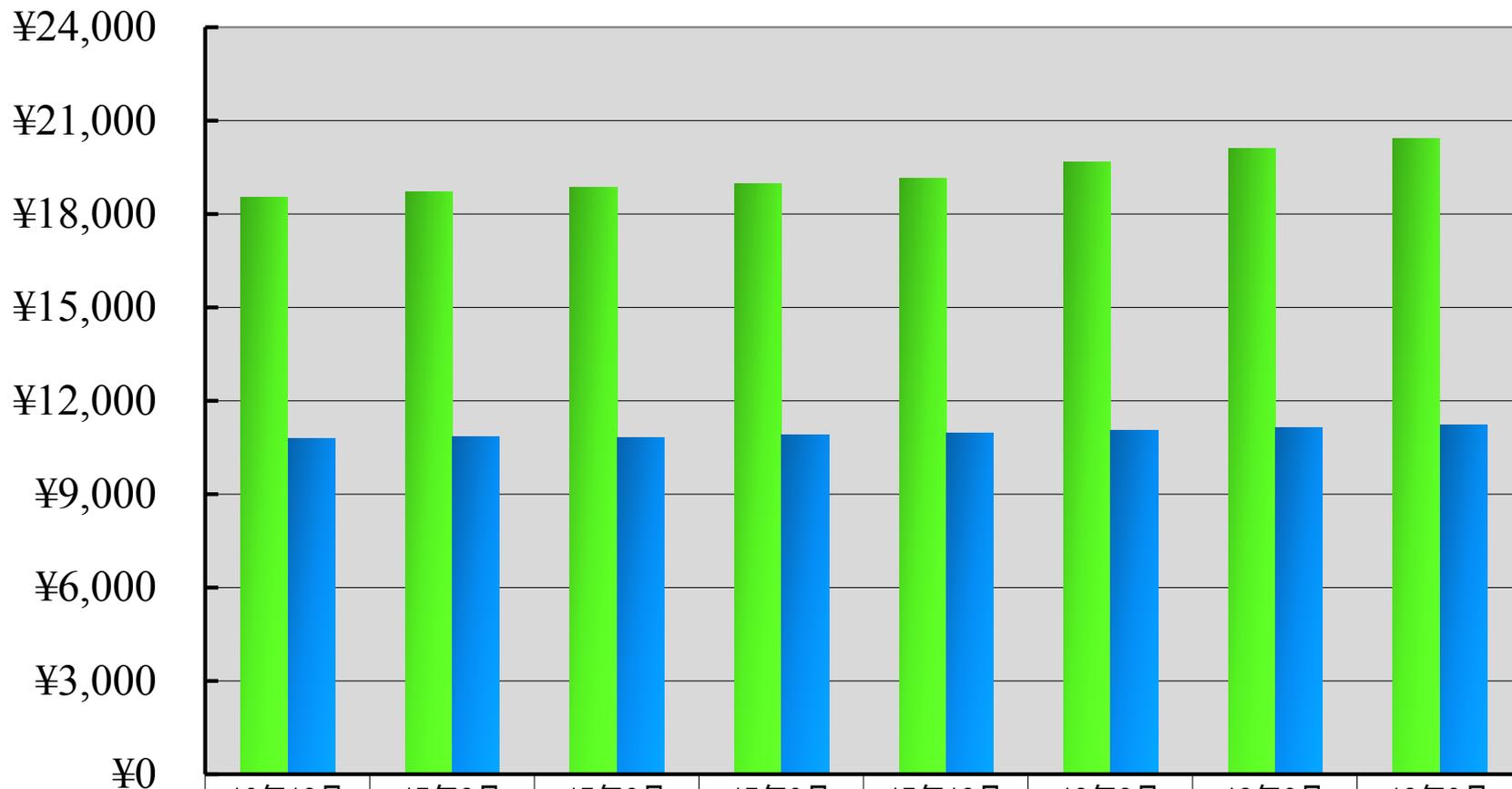
国際航空貨物取扱量 前年同月比





■ 東京ビジネス地区	3.6%	3.6%	3.3%	3.2%	3.1%	2.8%	2.6%	2.3%
■ 横浜ビジネス地区	5.0%	5.3%	5.0%	5.7%	5.1%	4.7%	3.8%	3.2%

募集賃料相場（円／坪）



■ 東京ビジネス地区	¥18,540	¥18,730	¥18,864	¥18,995	¥19,173	¥19,699	¥20,108	¥20,438
■ 横浜ビジネス地区	¥10,813	¥10,849	¥10,846	¥10,917	¥10,965	¥11,061	¥11,149	¥11,240

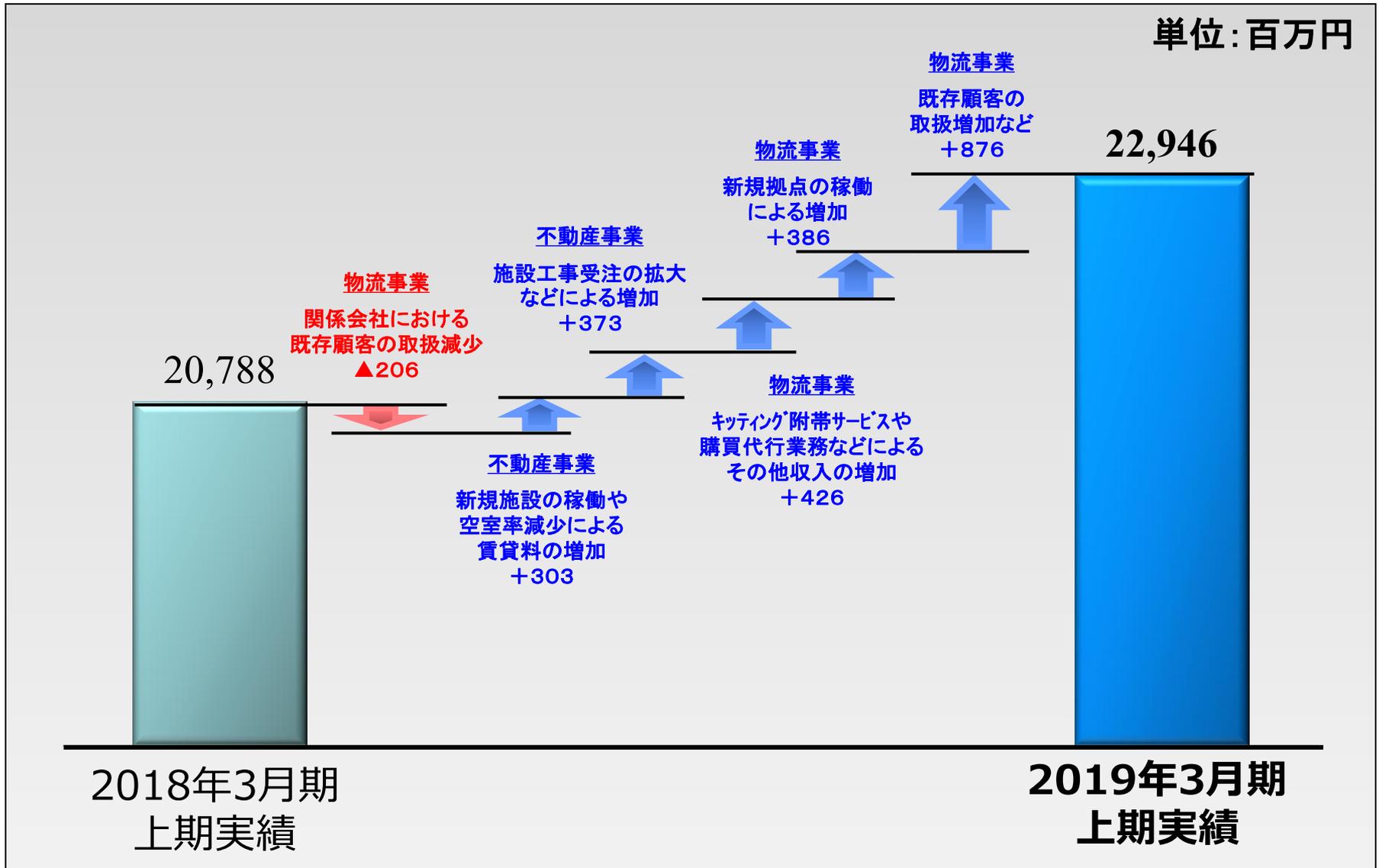
2. 2019年3月期 第2四半期（上期）の実績

単位：百万円

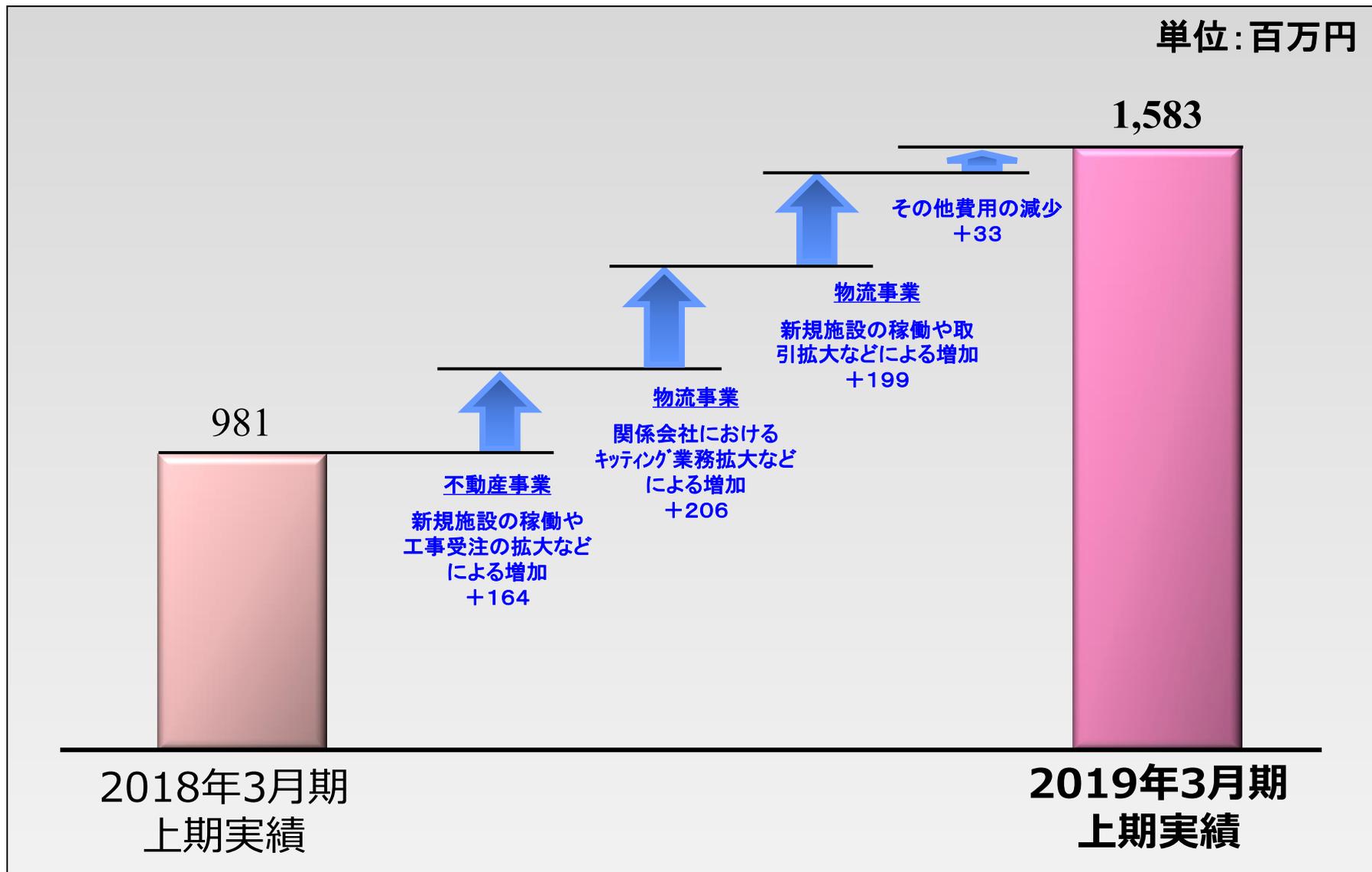
前年同期対比	連結		前年同期比	
	前期上期	今期上期	増減額	増減率
営業収益	20,788	22,946	2,158	10.4%
営業利益	981	1,583	602	61.4%
経常利益	1,266	1,974	707	55.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	838	1,284	445	53.1%
営業収益営業利益率	4.7%	6.9%	2.2pt	—
四半期純利益／株（円）	28.43	43.70	15.27	53.7%

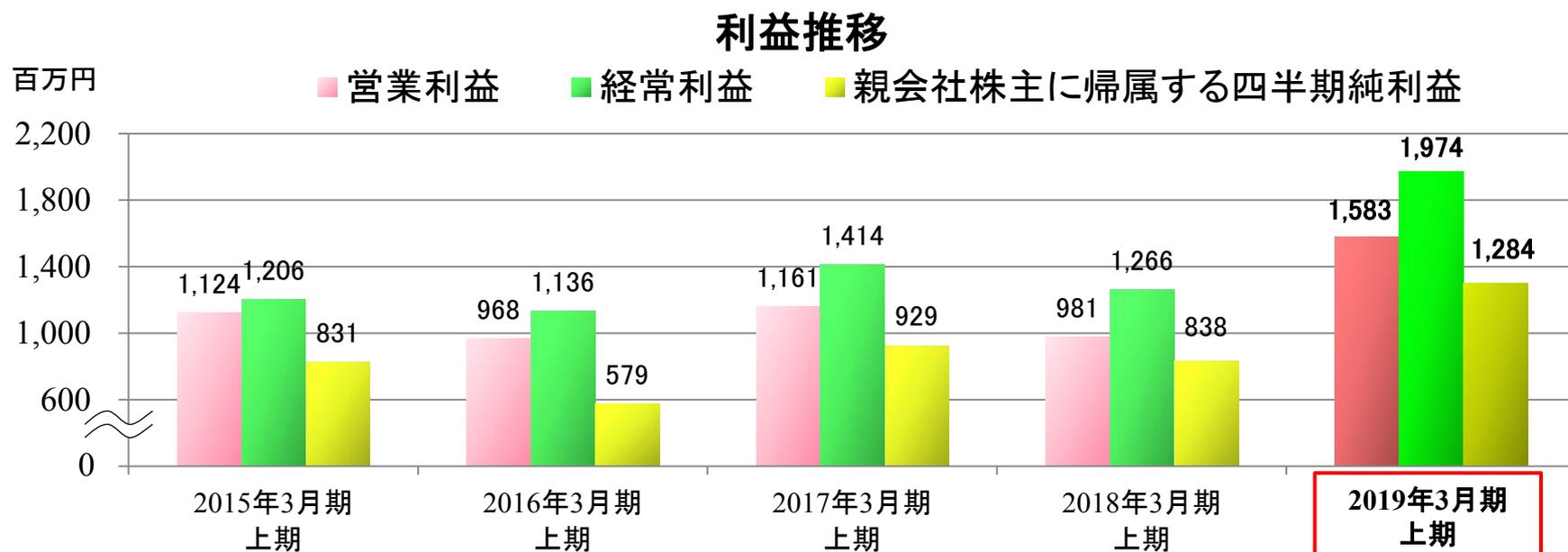
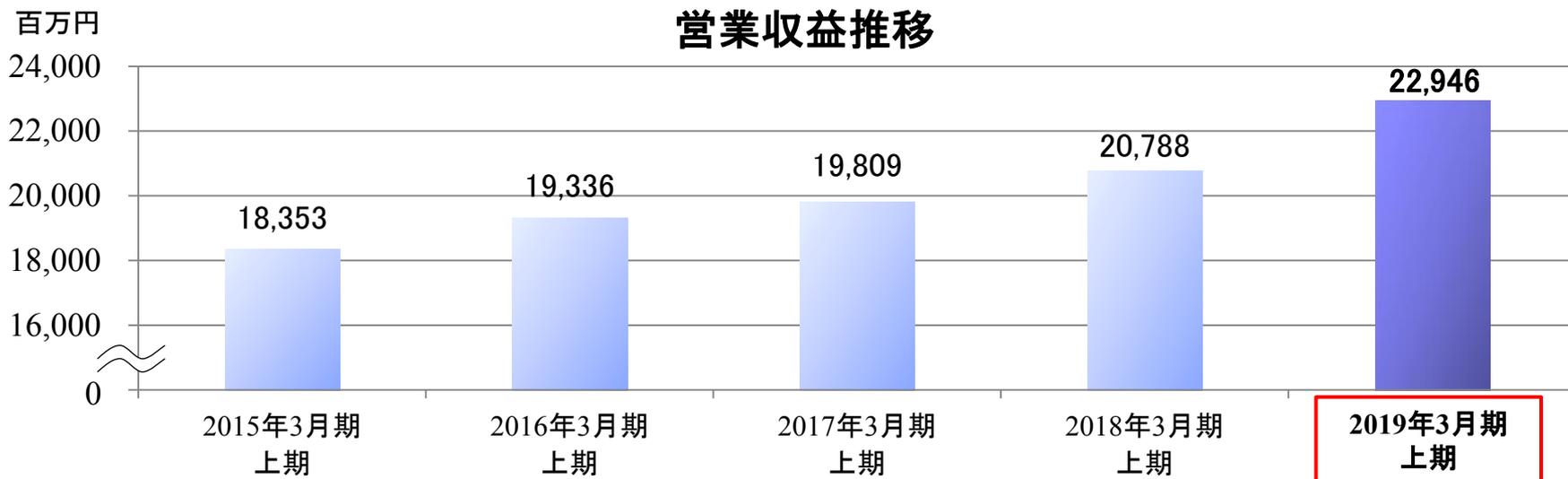
期初予想対比	連結		期初予想比	
	今期上期 期初予想	今期上期 実績	増減額	増減率
営業収益	22,300	22,946	646	2.9%
営業利益	1,100	1,583	483	43.9%
経常利益	1,450	1,974	524	36.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	930	1,284	354	38.1%

営業収益の主な変動要因



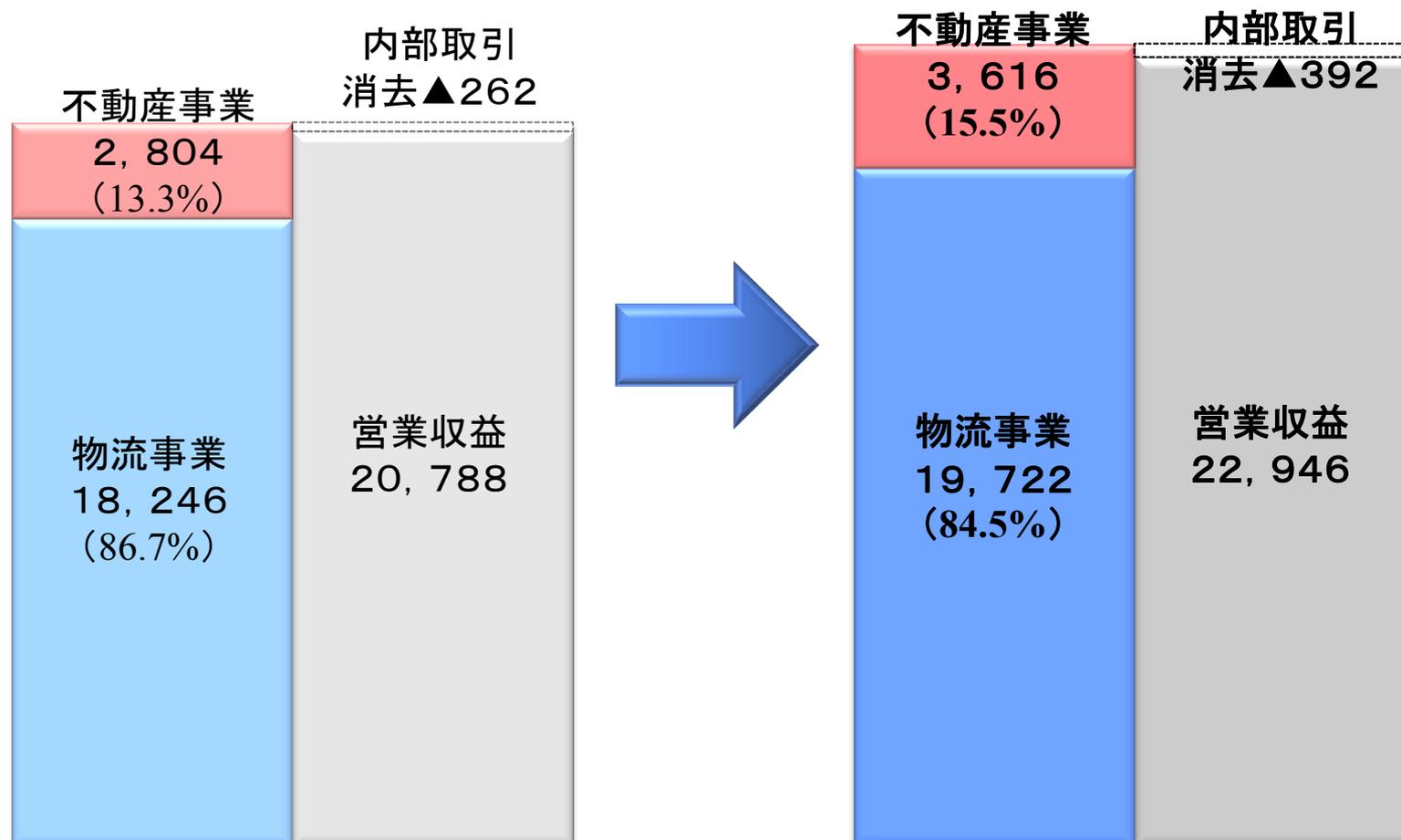
営業利益の主な変動要因





セグメント別営業収益

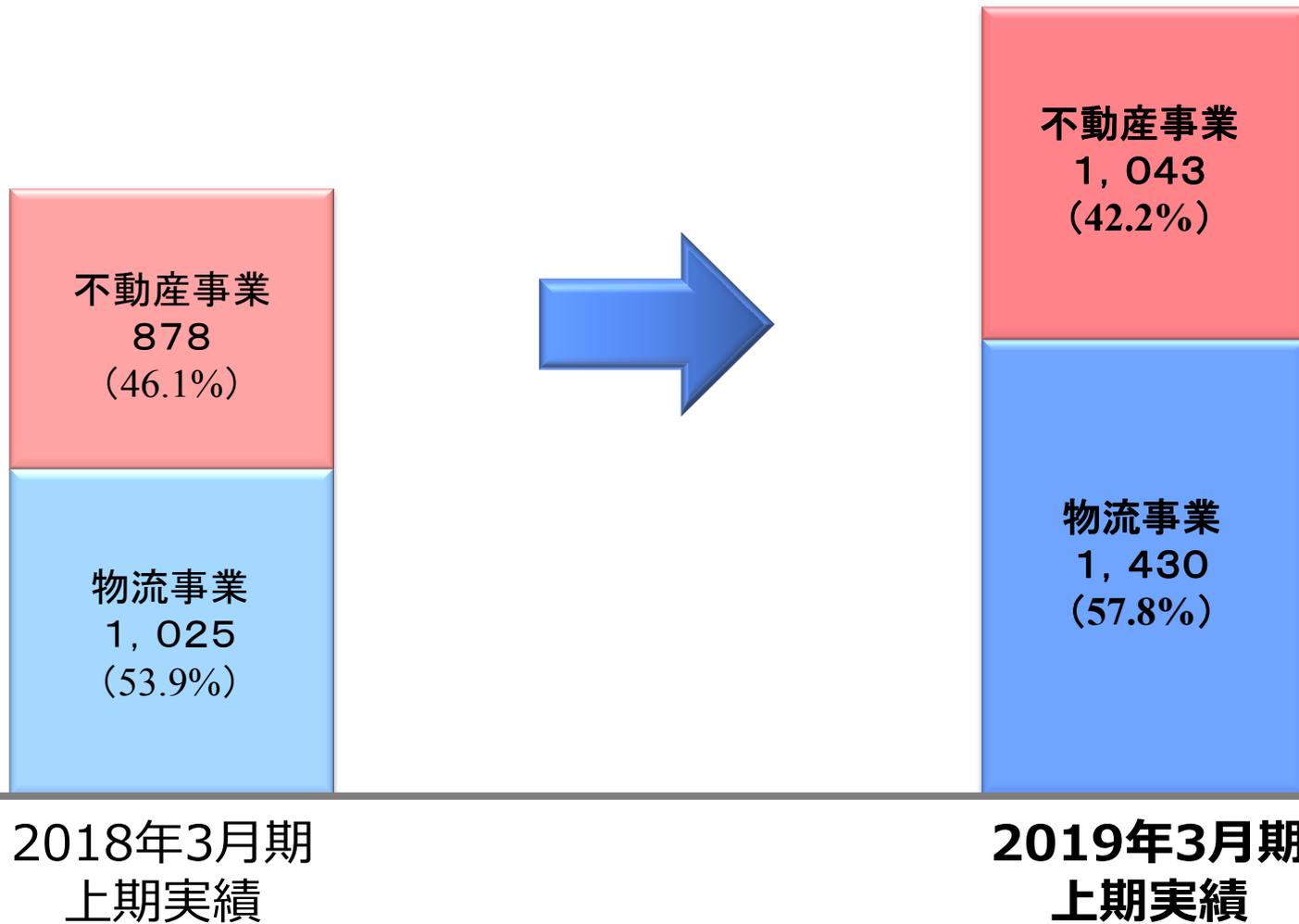
単位:百万円
()内は構成比



2018年3月期
上期実績

2019年3月期
上期実績

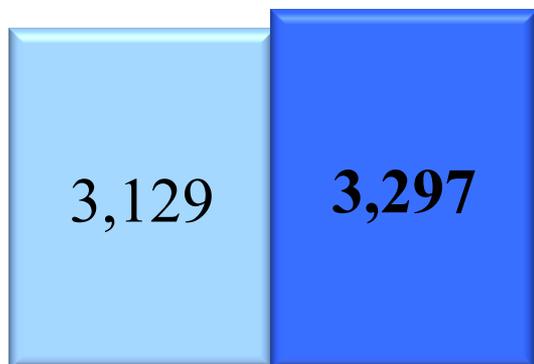
単位：百万円



単位：百万円

保管料

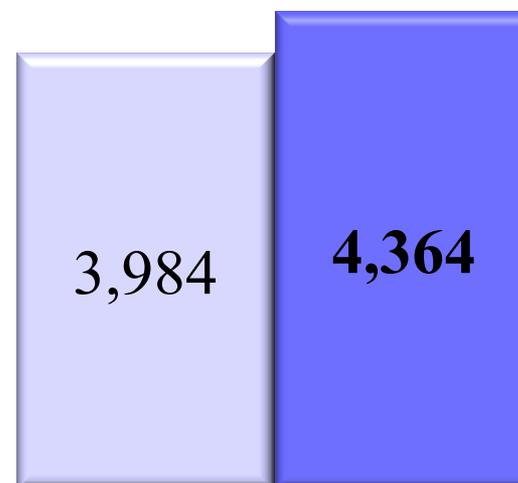
■ 前期上期 ■ 今期上期



新規拠点の稼働や既存取引増加などより
前期比増収

倉庫作業料

■ 前期上期 ■ 今期上期

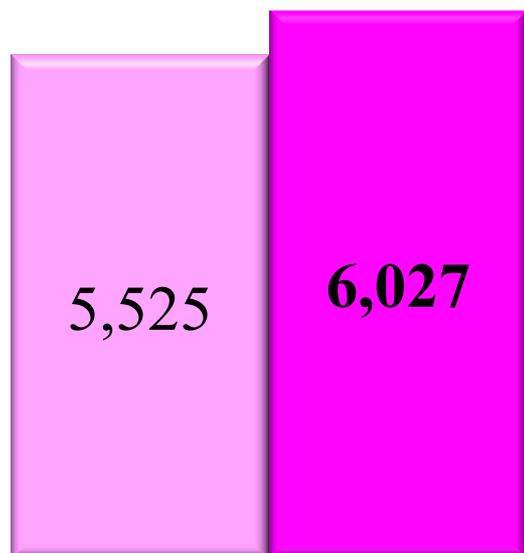


既存顧客との取引拡大や新規拠点稼働
により前期比増収

単位：百万円

陸運料

■ 前期上期 ■ 今期上期



キitting業務取扱増加や料金見直しなどにより前期比増収

国際貨物取扱料

■ 前期上期 ■ 今期上期



大型資材・機材の輸送取扱減少も航空SP貨物の増加などにより前期比増収

単位：百万円

物流賃貸料

■ 前期上期 ■ 今期上期



前年同期比並に推移

その他(物流)

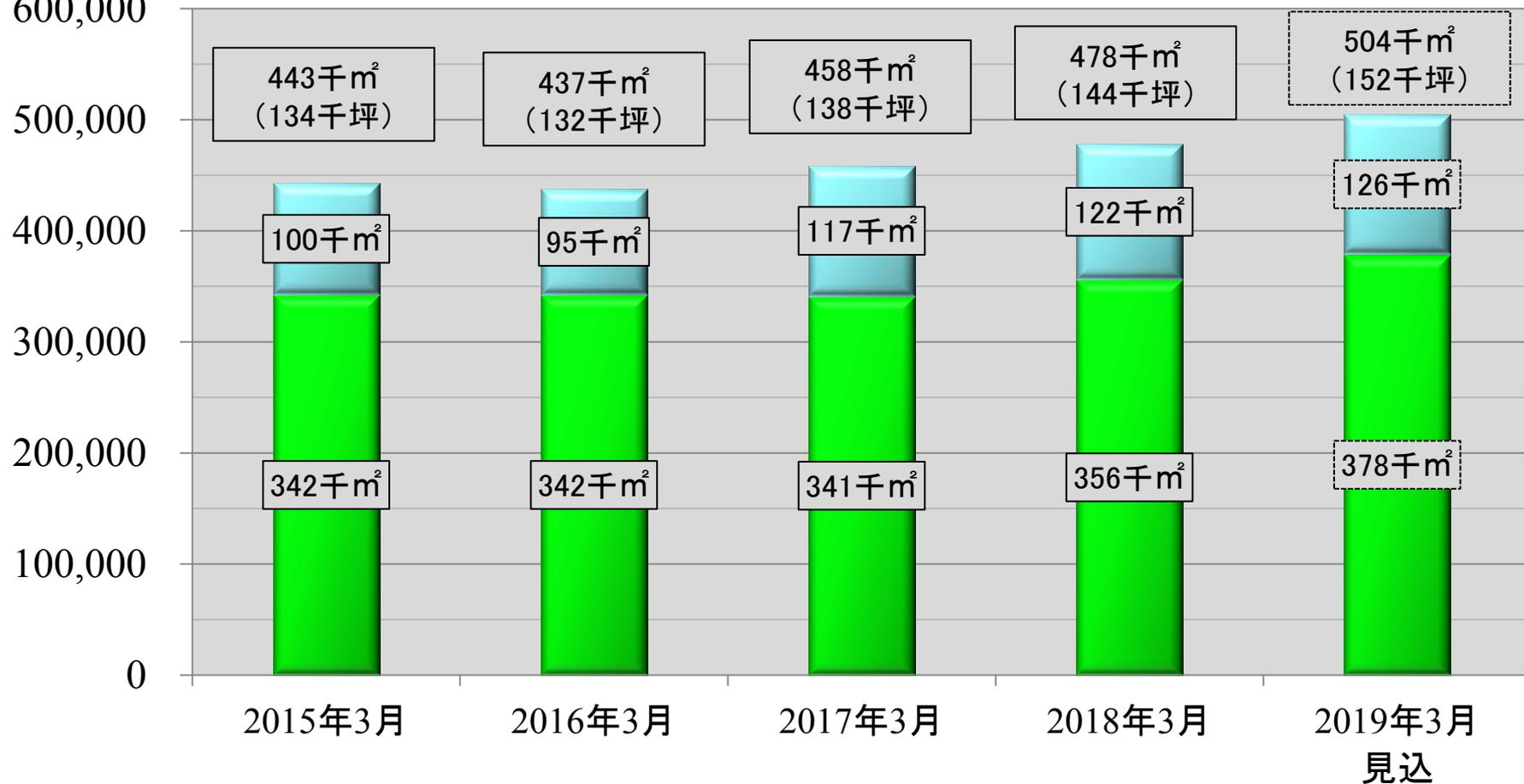
■ 前期上期 ■ 今期上期



キitting関連業務、購買代行業務の取扱増加により前期比増収

■ 所有 ■ 賃借

単位: m²
600,000



メディカル物流サービスへの取組

登録番号 13B2201065

医療機器製造業登録証

氏名又は名称 安田倉庫株式会社

製造所の名称 安田倉庫株式会社 平和島営業所

製造所の所在地 東京都大田区平和島三丁目6番1号
東京団地倉庫A-1棟

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第23条の2の3
第1項の規定により登録された医療機器製造業者であることを証明する。

平成29年1月16日

東京都知事 小池 百合子

有効期間 平成29年1月16日から
平成34年1月15日まで

1322878001483

登録番号 11EZ200006

体外診断用医薬品製造業登録証

氏名又は名称 安田倉庫株式会社

製造所の名称 安田倉庫株式会社
メディカル物流ユニット東京物流センター

製造所の所在地 埼玉県吉川市旭5番1号

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第23条の2の3
第1項の規定により登録された体外診断用医薬品製造業者であることを証明する。

平成30年8月16日

埼玉県知事 上田 清司

有効期間 平成30年8月16日から
平成35年8月15日まで

1123058000007

許可番号 第310683号

医薬品販売業許可証

氏名 安田倉庫株式会社
(個人にあっては名称)

営業所の名称 安田倉庫株式会社
メディカル物流ユニット東京物流センター

営業所の所在地 吉川市旭5-1

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第24条第1項の規定により、卸売販売業の許可を受けた者であることを証明する。

平成30年8月14日

埼玉県草加保健所長 中山 由紀

有効期間 平成30年8月14日から
平成36年8月13日まで

取扱品目 全ての医療用医薬品、要指導医薬品及び一般用医薬品

(医療機器製造業登録証)

(体外診断用医薬品製造業登録証)

(医薬品卸売販売業許可証)

九州営業所・平和島営業所第二倉庫開設

- ◆名称：九州営業所
- ◆所在：福岡県三井郡大刀洗町
大字高樋1708番地4

- ◆名称：平和島営業所第二倉庫
- ◆所在：東京都大田区平和島
3丁目2番12号

◆延床面積：約5,500坪

◆延床面積：約2,700坪



(倉庫外観)



(倉庫外観)

中国(上海)2号倉庫開設

◆所在	上海市青浦区青浦工業園区新枝路66号	
◆敷地面積	約11,550坪	
	1号倉庫	2号倉庫
◆延床面積	約2,830坪	約7,820坪
◆主要構造	鉄骨造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
◆階数	1階、一部2階(事務所)	3階
◆スケジュール	平成29年2月竣工 平成29年4月開設	平成30年7月竣工・開設



(1号倉庫外観)



(2号倉庫外観)

インドネシア現地法人設立

- ◆会社名 :PT. YASUDA LOGISTICS
INDONESIA
- ◆所 在 : ジャカルタ市内
- ◆事業目的 : 国際フォワーディング業
通関業
- ◆平成29年12月設立
平成30年 4月開設
- ◆インドネシアを含む東南アジア域内での
増加するロジスティクス需要に対応



(入居ビル外観)

彩都倉庫開設

- ◆名称：茨木営業所 彩都倉庫
- ◆所在：大阪府茨木市彩都あかね
- ◆延床面積：約2,030坪
- ◆高速道路へのアクセス良好な
大型物流施設の一角を利用した
茨木営業所のサテライト倉庫
- ◆倉庫内ではタブレットを使用した
入出庫受付システムを導入し
省力化を図るとともにドライバーの
待ち時間を抑える



(施設外観)

1. 新規取引の開始

- (1) 医療機器の保管業務 . . . 九州営業所
- (2) 化粧品の保管業務 . . . 中国上海

2. 既存取引の拡大

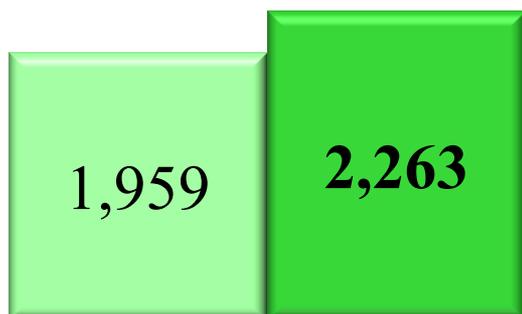
- (1) ATMキッティング業務拡大 . . . ITキッティングユニット
- (2) 医療機器の保管業務 . . . 平和島営業所第二
- (3) 飲料用容器の保管業務 . . . 守屋町、茨木営業所
- (4) 加熱式タバコの検品／加工業務 . . . 守屋町営業所
- (5) 教育機関の什器移転業務 . . . オフィスサポート事業

- 3. 取引条件の見直し . . . 各営業所

単位：百万円

不動産賃貸料

■ 前期上期 ■ 今期上期



第7安田ビル竣工により前期比増収

その他(不動産)

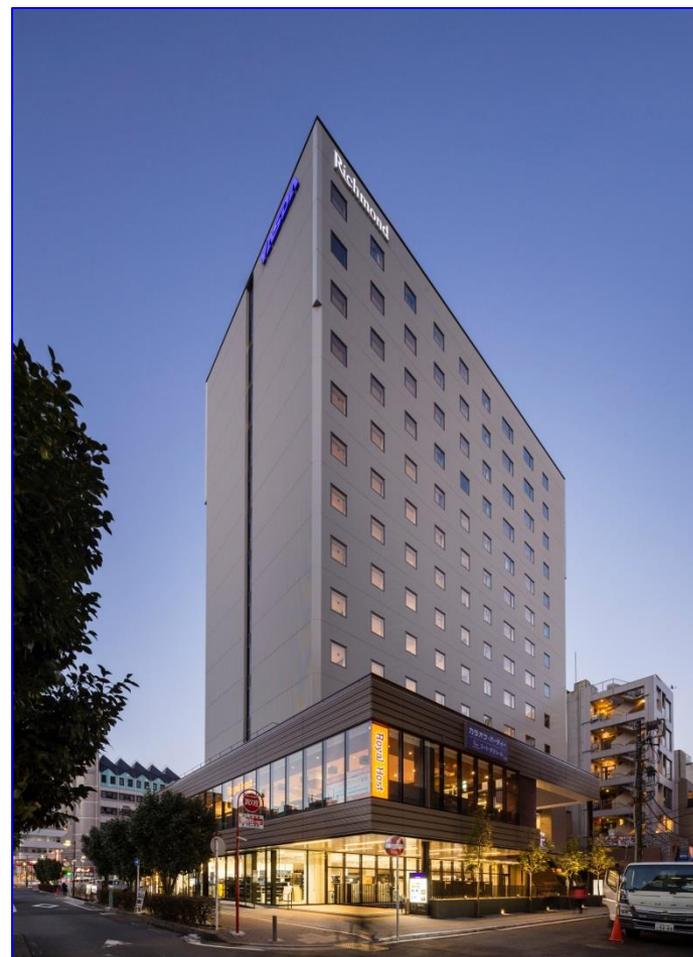
■ 前期上期 ■ 今期上期



工事の受注増加などにより前期比増収

第7 安田ビル竣工

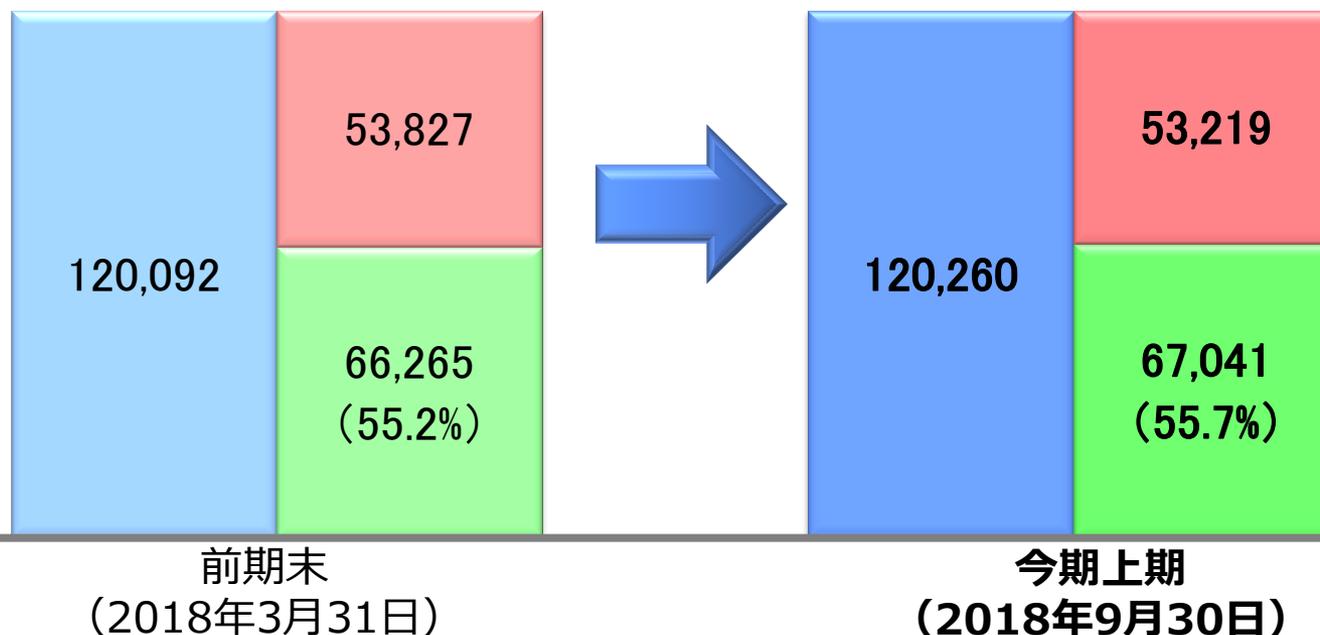
- ◆ 所 在：横浜市神奈川区鶴屋町
(横浜駅西口徒歩2分)
- ◆ 敷地面積：約500坪
- ◆ 延床面積：約3,000坪
- ◆ 施設構成：ホテル、商業施設
- ◆ 地下1階～地上2階：商業施設
地上3階～地上13階：ホテル
- ◆ 平成30年1月竣工



(外観)

■ 総資産 ■ 純資産 ■ 負債

単位：百万円



主な要因

- ◆ 総資産：現金及び預金 (+ 1, 3 5 3 百万)
受取手形及び営業未収金 (▲ 4 4 2 百万)
投資有価証券 (▲ 2 9 1 百万)
- ◆ 負債：1年以内返済予定の長期借入金 (▲ 2 5 5 百万)
長期借入金 (▲ 1 6 9 百万)
- ◆ 純資産：利益剰余金 (+ 1, 0 7 8 百万)
有価証券評価差額金 (▲ 2 0 5 百万)

単位:百万円

	前期上期	今期上期	前期比	主な要因
営業活動によるCF	+1,058	+3,421	2,362	税金等調整前四半期純利益やその他に含まれる未払消費税等が増加
投資活動によるCF	▲3,428	▲1,465	1,962	有形固定資産の取得が減少
財務活動によるCF	+1,801	▲627	▲2,428	新規借入金の減少
四半期末残高	3,315	6,232	2,917	

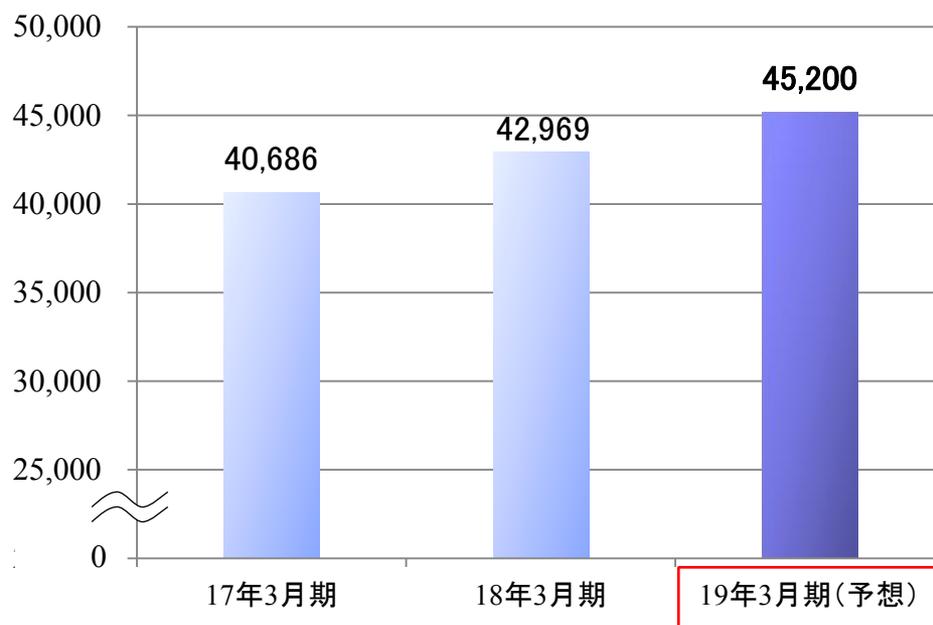
単位：百万円

	前期上期	今期上期	増減額	今期通期 (計画)
設備投資額	3,347	1,268	▲2,079	4,690
主な投資案件	<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫施設新設関連 ・事務所施設更新 など 			
減価償却費	1,144	1,253	109	2,680
期末借入金残高	26,787	27,672	885	29,676

3. 2019年3月期 通期の見通し

営業収益

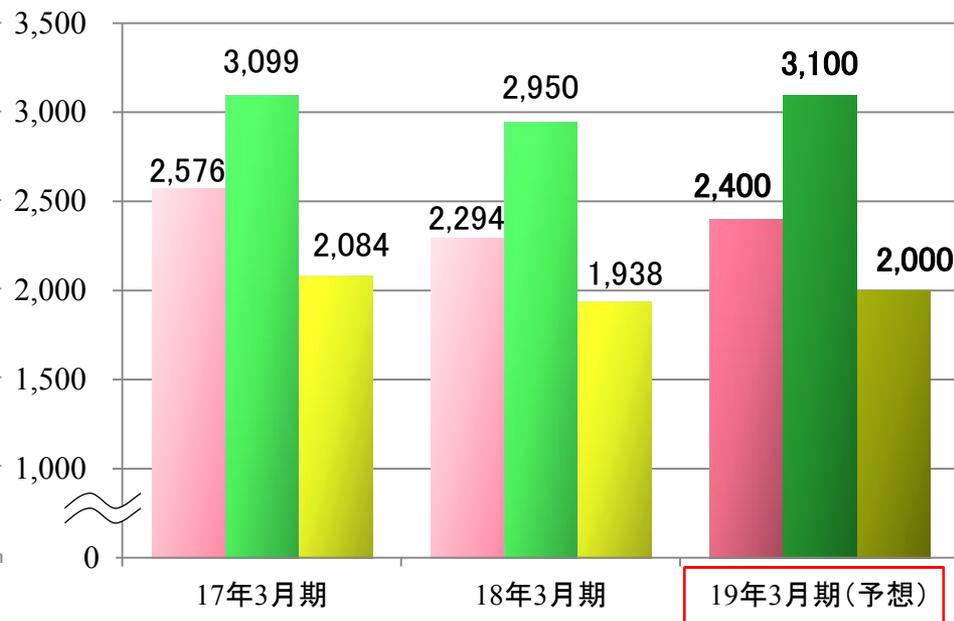
単位：百万円



	前期比	
	増減額	増減率
営業収益	2,231	5.2%

営業利益 経常利益 親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



	前期比	
	増減額	増減率
営業利益	106	4.6%
経常利益	150	5.1%
当期純利益	62	3.2%

◆通期業績予想は据え置き（平成30年5月9日公表）

- ・メディカル分野やIT機器取扱分野における取引の拡大、航空SP貨物の取扱増加などにより営業収益、営業利益ともに通期予想達成を見込む

- ◆ 運送ネットワーク（Y's LINER）の拡大
- ◆ メディカル物流の拡大（九州営業所の活用）
- ◆ I T キットティング業務の拡大
- ◆ 大型資材・機材輸送案件の獲得
- ◆ インドネシア現地法人の営業開始
- ◆ 上海青浦2号倉庫への顧客誘致

<配当方針>

安定配当を基本としつつ、利益水準等を勘案して決定

2015年3月期	年間配当14円	(連結配当性向26.0%)
2016年3月期	年間配当14円	(同30.5%)
2017年3月期	年間配当14円	(同20.3%)
2018年3月期	年間配当14円	(同21.3%)
2019年3月期	配当水準維持予定	

年間配当14円予定

(中間配当：7円、期末配当：7円)

お客様を支える存在になる為に

**「中期経営計画2018」
お客様のビジネスをサポートする
グローバルな物流会社**

課題解決にスピーディーに応える
ソリューション提案型営業の徹底

お客様に潜在するロジスティクス・
ニーズをいち早くキャッチ

「品質」と「生産性」の向上

YASDA



当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当資料は、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境等の変化に伴い、目標や計画に対し変化し得ることにご留意下さい。

投資を行う際には、必ず弊社が作成する有価証券報告書等をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。